

令和 6 年 4 月 5 日

締切日（令和6年4月5日）以前の日付を記入してください。

1	2	3	4	5

個人立等 (7桁)

登録印鑑（実印）を
押してください。

東京都知事 殿

郵便番号 163-8001

法人/設置者所在地
(印鑑証明と同一) 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

法人/幼稚園名 学校法人都庁学園

理事長・設置者名 都庁 太郎

都庁
学園

令和5年度私立幼稚園教育水準向上支援事業費補助金実績報告書

令和6年2月27日付5生私振第1591号で交付の決定を受けた、令和5年度私立幼稚園教育水準向上支援事業費補助金について、下記のとおり報告します。

記

1 幼稚園別内訳

幼稚園名	(A) 交付決定額 (円)	(B) 補助金執行額 (円)	差額 (円) (A) - (B)
都庁幼稚園	172,000	170,000	2,000
合計	172,000	170,000	2,000

交付決定通知書の学校別交付決定額を記入してください。

実績報告2の「補助金執行額」を記入してください。

青色セルの箇所は、自動計算されます。

ない場合は、「(A) 交付決定額」欄に「-」を記入してください。

こちらの金額を補助金請求書に記載してください。

事務担当者	都庁 次郎
電話番号	03-****-****
メールアドレス	1234567@tochou-youchien.ed.jp

幼稚園ごとに作成
※記入欄が不足する場合には、内訳の行をコピーし、コピーした行を9行目～14行目の間に挿入してください。

プルダウンメニューから選択してください。

<費目>給料手当、報償費、旅費、消耗品費、燃料費、会議費、印刷製本費、備品購入費、通信運搬費、広告料、手数料、雑役務費、委託料、保険料、使用料及び賃借料、工事費

3 4 5 6 7

都庁幼稚園

金額は、**税込金額**で記入してください。

2 幼稚園別実績内訳 (注2)

(1) 補助対象経費の実支出額

番号 (注2)	費目 (注3)	品目等 (注4)	金額 (円)	
内 訳	1	消耗品費	ジャガイモ、トマトの種苗	20,900
	1	消耗品費	肥料	11,000
	2	消耗品費	ウサギの餌 (ペレット、野菜)	44,000
	3	印刷製本費	本の作成に係る紙代、インク代	10,100
	4	雑役務費	教職員の研修参加に係る費用	81,200
	4	印刷製本費	チラシの作成に係る紙代、インク代	3,500
総額			① 170,700	

どの事業で必要な経費かがわかるよう、実績報告3「3 幼稚園別取組内訳」に記載した事業の番号と一致させてください。

交付決定通知書の学校別交付決定額を記入してください。

(2) 補助金執行額

①の千円未満を切り捨てた額 (円)	交付決定額 (円)	補助金執行額 (円)
②	③	②と③のいずれか低い額
170,000	172,000	170,000

(注1) 青色セルの箇所は、自動計算されます。

(注2) 「番号」欄には、実績報告3「3 幼稚園別取組内訳」の番号を

こちらの金額を実績報告1の各園の(B)補助金執行額に記載してください。

(注3) 「費目」欄には、補助対象経費の費目を記入してください。

<費目>給料手当、報償費、旅費、消耗品費、燃料費、会議費、印刷製本費、備品購入費、通信運搬費、広告料、手数料、雑役務費、委託料、保険料、使用料及び賃借料、工事費

(注4) 「品目等」欄には、補助対象経費の具体的な内容を記入してください。

幼稚園ごとに作成
※5事業以上行っている場合には、
本シートを複写してください。

■令和5年度分の学校関係者評価を実施し、その評価結果を自園のホームページに公表している場合
「HP上リンク先アドレス」欄にアドレスを記入してください。

■令和5年度分の学校関係者評価を実施しているが自園のホームページで未公表の場合
公表予定日を記入ください（令和6年7月末までに公表してください）。また、公表後速やかにHP上リンク先アドレスを下記アドレス宛てに送ってください。
<送り先>S1121501@section.metro.tokyo.jp
<件名>私立幼稚園教育水準向上支援事業費補助金実績報告書（R5学校関係者評価）（幼稚園番号）

5	6	7
幼稚園		

3 幼稚園別取組内訳（注1）

次の（1）から（3）までのすべてを満たす場合に補助対象となります。

- (1) 学校教育法等に定める「自己評価」及び「学校関係者評価」の結果を自園のホームページで公表していること
- (2) 教育水準の向上に向けた取組で、次の①から④までの取組を実施していること
 - ①幼児教育の内容・方法の改善
 - ②幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上
 - ③家庭・地域における幼児教育の支援
 - ④新型コロナウイルス感染症に対応した取組
- (3) (2)の取組内容や成果について、報告書等の形で分けて報告していること

プルダウンメニューから選択してください。

- ①幼児教育の内容・方法の改善
- ②幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上
- ③家庭・地域における幼児教育の支援
- ④新型コロナウイルス感染症に対応した取組

■左記（3）自園のホームページでの学校関係者評価結果の公表について

公表している場合 (HP上リンク先アドレス)	https://tochou-youchien1234567.ed.jp
未公表の場合 (公表予定時期)	

※ 未公表の場合、公表後速やかにHP上リンク先アドレスを報告してください。

1、2、3…と付番してください。

番号 (注2)	実施回数・期間 (注3)	事業分類 (注4)	実施内容 (注5)	実施効果 (注6)
1	春から夏まで	①幼児教育の内容・方法の改善	園内のスペースを活用して畑を整備して、園児が皆で協力しながら、じゃがいもやトマトの栽培から収穫までを行い、その野菜を調理して食べた。この一連の活動を通して、食の大切さ、楽しさを学ぶなど食育の推進を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の取組を実施したことにより、幼児教育の質が向上した。
2	年間を通して	①幼児教育の内容・方法の改善	園内でウサギを飼育し、園児たちにも餌やり、掃除等をさせるなど、日常的に動物と触れ合いながら、身近な動物への接し方を考え命を大切に感じる感覚を育んだ。	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の取組を実施したことにより、幼児教育の質が向上した。
3	月に1回	②幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上	園の教育方針や教職員に求める資質・技能などを、1冊の本にまとめた。そして、その本を教材にして、園長を講師とした園内研修を定期的に実施し、教職員の資質の維持、向上を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の取組を実施したことにより、幼児教育の質が向上した。
4	月に2、3回	③家庭・地域における幼児教育の支援	認定インストラクターの研修を受けた教職員が講師となり、地域の子育て世帯を対象に、ベビーサインやベビーマッサージ等の教室を開催し、地域の子育て世帯への支援を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 左記の取組を実施したことにより、幼児教育の質が向上した。

年に1回のみ実施等、単発で実施した取組は原則として対象となりません。

「実施内容」に記載した取組を行ったことによって、幼児教育の質が向上した場合には、□に✓を入れてください。

(注2) 「番号」欄には、順に番号を記入してください。

(注3) 「実施回数・期間」欄には、今年度実施した取組の実施回数・期間を記入してください。

(注4) 「事業分類」欄には、該当する事業分類を記入してください。
<事業分類>①幼児教育の内容・方法の改善、②幼児教育を担う人材の育成・専門性の向上、③家庭・地域における幼児教育の支援、④新型コロナウイルス感染症に対応した取組

(注5) 「実施内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるように記入してください。

“どのような取組を行ったのか”、またその取組が“どのように幼児教育の質の向上につながったのか”がわかるように記入してください。

※交付申請時の計画段階の内容のまま提出しないようご注意ください。

取組については対象となりません。

幼児教育の支援、④新型コロナウイルス感染症に対応した取組

行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

(注6) 「実施効果」欄には、実施内容に記載の取組を行ったことにより、幼児教育の質が向上した場合には、□にチェックを入れてください。